

理科部門

総評

今年は題材として身近なものや生き物を扱った作品が多く、普段の生活から理学的な発想力が養われている様子がうかがわれました。
インターネット等を利用した作品が多くありましたが、情報をまとめただけで終わってしまっているものが目立ちました。その中で、情報を元に実験・観察を重ね、事実の裏付けをし、科学的な知をつくっている作品が特に高く評価されました。自分の発想を広げるために、収集した情報を上手に活用していくことが、本当の知識を深めることにつながっていきます。

賞 文部科学大臣奨励賞

アマガエルの体色変化の研究 実験と観察パート2

愛知県 岡崎市立電美丘小学校 5年 稲葉 えいり



アマガエルへの愛情が伝わってきます。

観察結果や実験結果をしつかり考察し、次の実験・観察へと発展させているところが素晴らしいです。難しい生物の実験を、いろいろな条件でいねいに行い、結論がきちんと導き出されていて、まとめたものとしています。継続的な研究の中に、アマガエルへの情熱が感じられました。読み物としてもおもしろい作品です。稲葉さんとアマガエルとの、ほのぼのとしたふれあいがよく伝わってきます。

賞 子どもの文化・教育研究所 理事長賞

私たちの住む北方町の環境を調べる

岐阜県 北方町立北方中学校 1年 三川 智衣、舟橋 由佳、小縣 佳菜、平田 知里



4人の努力の結晶です。

学校での総合的な学習をきっかけに、自分たちの住む町の環境について問題意識を持った点が評価されます。4人それぞれが違った視点で、同じ問題に取り組んでいるところがユニークです。自分の知識で足りなければ、詳しい人に問い合わせたり、データ収集に協力し合い、こつこつと調べたり、4人の行動力は素晴らしいものがあります。役割分担をして、それぞれの視点で掘り下げたことを、ひとつにまとめたこの共同研究は、これからの科学のありかたを示しています。

賞 全国中学校理科教育研究会 会長賞

薬用植物と植物に含まれる 化学成分の研究 パート2

宮城県 仙台市立立華中学校 3年 宮城 翠

収集したデータの豊富さと、標本解説の細かさ、驚かされた作品です。資料を使いながらデータを整理するだけでなく、自分でできるものについては、実際に分析作業を行い、成分を確認するなどしています。根気よく、いねいに仕上げられた作品です。非常に完成度の高い作品です。



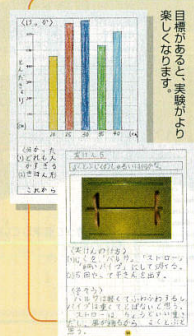
非常に完成度の高い作品です。

賞 全国小学校理科研究協議会 会長賞

トンボブレーンにチャレンジ！ 目指せ、10m！！

岐阜県 岐阜市立城島小学校 3年 森 理人

自分の興味のあることを対象にして、根気よく実験をかかれています。実験結果も、いねいにまとめられています。じっくりと時間をかけた実験過程からは、遠くまで飛ばしたい！という、森さんのトンボブレーンに対する情熱がよく伝わってきます。



賞 中央出版株式会社 社長賞

蚊をもっと知ろう！

岐阜県 柳津町立柳津小学校 3年 山田 清人

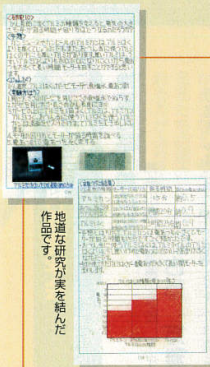
着眼点がおもしろい作品です。実験に基づきながら、目星がのびています。実験結果を検証しています。いねいに観察して、順序よく実験結果をまとめ、最終的には、目的に対する明確な答えを、自分でしっかりと導き出しているところが、評価できます。

氷の研究
岐阜県 柳津町立柳津小学校 5年 小川 文菜
走れぼくのペットボトルカー
愛知県 愛知教育大学附属岡崎小学校 3年 武田 能生

賞 海外在住者賞

身の回りの物を使う 電池についての研究

台湾高雄 日本人学校 小学部4年 森田 健太郎



地道な研究が美を結んだ作品です。



楽しく研究しているようすが伝わってきます。